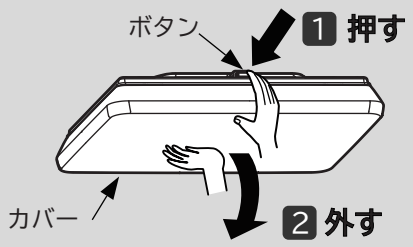
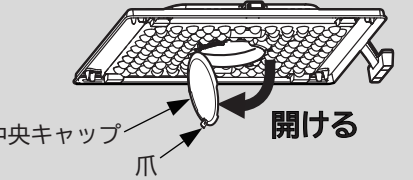
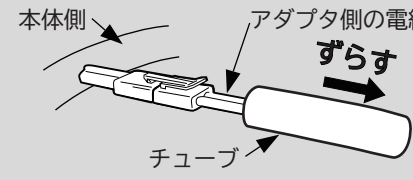
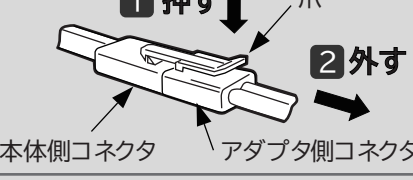
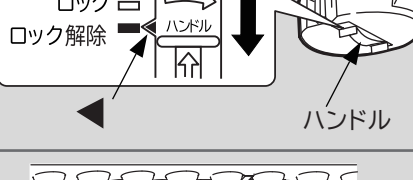
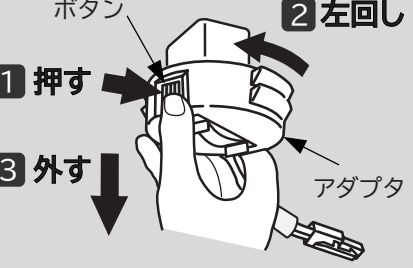


器具の取り外しかた

カバーおよび本体の取り外しかた

- 電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ってください。
※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- カバーを支えながらボタンを押して、カバーを取り外してください。

- 中央キャップの爪を持って開けてください。

- チューブをアダプタ側の電線にずらしてください。

- コネクタを外してください。
アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。

- ハンドルの◀を「ロック解除」の位置にずらしてください。

- 本体中央部を、しっかり支えながら、アダプタのハンドルを右に回して本体を外してください。

- アダプタを外してください。
ボタンを押しながら左方向に回してください。
●器具の取り付けかたは → P.4～5 をご参照ください。


●器具の取り外しの際は、電源を切る。
必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。

●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する。
※やけどの原因となります。

●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っばったりしない。
禁止 ※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

●本体が落下しないように、確実に本体を支えながら作業する。
必ず守る ※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。

●アダプタを無理に回さない。
禁止 ※引掛シーリングボディなどの破損の原因となります。

ご使用上に関するお知らせ（このようなことにもご注意を）

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが動作しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電（0.2秒～2秒以内）や電圧の低下などにより、点灯状態が切り替わる場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源のみの交換はできません。交換の際は器具ごと交換してください。
- LED素子の発光色等のバラツキなどのため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

各部の名前・付属品

●下図を参照して、各部品をお確かめください。 ※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

